

緑道

この道は、緑道を愛する人たちが
未来の旭川市民のために
心地よい空間づくりを行っているです。



みんなの手でつくっていく道

緑道ワークスとは、

緑道のよりよい環境づくりのため、未来の旭川市民のために、心地

よい空間づくりを自主的かつ積極的に行うことを目的として活動しているボランティア団体です。

景観美化活動として、腐葉土づくり、ゴミ拾い、エコミュージアム活動、エゾオカミ物語モニタリング設置などを実施してきました。年齢層も幅広く10代〜70代で活動し、高校生・大学生・地域住民といった日常生活の中で触れ合う機会の少ない世代が、交流することで多くの刺激を受けることも魅力の一つです。

特に高校生・大学生といった10代、20代の未来の担い手にとっては、大きな意味を持つ活動になることでしょう。近い将来、「この道は、昔、私が作ったんだよ。」と子供に伝える日が来るかもしれません。緑道ワークスというバトンを次の世代に繋げていくことが出来ることを願っています。



高等学校教諭
中島 宗一郎

緑道ワークスは、

「自分たちの手で道の風景を作っていく活動」だと学校のボランティア

部に案内が届き、「風景をつくる」というのがとても新鮮だったので参加しました。

10年後、20年後、この道や私が植えた木はどんなふうになっているだろうか？と考えた時、ふと自分はもうなっているのかと想像してみました。10年後は27歳。結婚して育児に追われているか、それともバリバリ仕事をしているだろうか。私の10年後は想像もつかないけど、子どもがいても、独身のキャリアウーマンでも、ここを歩けば、この木を植えた高校生時代を思い出して、緑道の木陰で子どもに絵本を読んだり、友達とここでお茶を飲んでおしゃべりしている風景ははつきり浮かびます。よく考えてみれば、買物公園通というのも、誰かがつくり、長い年月を経て、様々な人の歴史が積み重なってつくられてきたのだと気が付いて、ハッとしました。

緑道に植樹をしたことで、こんなことを考えている自分に驚いています。少なくとも一年前の私には想像もできません。皆さんと一緒に緑道をつくりませんか？



高校2年生
富居 紗弥佳





黒川ゼミ
池田 一貴

小学生のころ旭山動物園であべ弘士さんのオオカミの物語を読んだことを思い出しました。10年ぶりにこの作品と再会して懐かしくなりました。エゾオオカミがかつて北海道に居たこと、そして人間の手で絶滅したことなど、この通りを歩くことで、自然や動物のいのちについて考えるきっかけになればと思います。



旭川工業高等専門学校
技術専門職員
小林 一誠

今回の製作において最大のポイントは「安全と美観の両立」でした。市道に設置するには、市民に親しまれながらも安全に通行して頂く必要があり、デザインを犠牲にせず、一定の強度を持たせる必要がありました。ぜひその観点からもご覧頂けると嬉しいです。



演劇部 OB
安倍 優斗

モニュメント設置後、「エゾオオカミ物語」の朗読を担当しました。絵本の中ではフクロウがエゾオオカミの物語を話して聞かせているので、演劇で鍛えた持ち前の生声で、フクロウになったつもりで、語ってみました。すると、子どもたちが自然の草むらの中でオオカミやシカの群れを、息を殺して覗いているように見えて、楽しい体験でした。

絵本「エゾオオカミ物語」より
作・絵：あべ弘士(講談社)
設置日：2019年6月
設置者：旭川市
協力：旭川工業高等専門学校・こびん Design



エゾオオカミ現る

七条緑道を歩いていると、視線を感じ、ふと茂みの中をのぞいてみたら、なんと、オオカミや鹿たちが……！
緑道を「インスタ映え」する通りに、さらに旭山動物園とのつながりもつくれたらと、市内の大学生の組織ウエルビーイングコンソーシアムで企画し、旭川市に提案したところ、モニュメント制作が決定。緑道ワークスの理事長でもある絵本作家・あべ弘士さんは、旭川の学生が制作することを条件に、若い人たちの励みになればとご快諾くださり、制作は高専で行いました。学生は勿論、高専の先生方も張り切って、何度も打合せを重ね、実現しました！
緑道に来たら、オオカミや動物たちの写真をいっぱい撮ってインスタグラムにアップしてくださいね！

旭川大学経済学部黒川ゼミナール

呼んだ？



高校2年生
中川 丞未



高校2年生
新屋 由奈



緑道の砂漠地帯!?

緑道といえば、緑いっぱいイメージですが、太陽の光が浴びられず、土壌も悪く、植物が成長しない場所があります。そのエリアを私たちの間では「砂漠地帯」と呼んでいます。

こんな陽の当たらないところに種を蒔いても咲かないだろうなと、高校生スタッフの間では諦めていました。ある日、最年長の奈良さんから、「秋桜なら、環境の悪いところでも育つよ」と教わり、半信半疑で秋桜の種を蒔きました。すると、小さめですが、砂漠に花が咲いたのです！失敗を恐れずにチャレンジしてよかったです。緑道ワークスには色々な世代の方がいますが、皆願いは一つ。もっとも緑を増やしたい。そして、もっと、緑や花を増やすための新しい発想が必要だと思いました。

昨年からは緑道の土壌改良のためにコンポストボックスの設置を行い、腐葉土作りを始めました。腐葉土とは、長い年月をかけて落ち葉が分解され、土になったものです。緑道の落ち葉で腐葉土を作ること、自然の土に戻すことが期待されますし、落ち葉を循環させることができます。

落ち葉掃除に苦労されている店舗の方にも喜んでいただいて、とてもうれしかったです。コンポストボックス設置の時は、子どもたちが「やりたい！」と楽しそうに参加してくれたことが印象的でした。砂漠地帯も、人の手が加わったことでコスモスが咲きました。今年咲いたコスモスの種を採集して、また来年蒔きます。腐葉土やコスモスのように、人と植物の素敵な関係が長く続くことを願っています。



緑道に、新たな仲間が加わりました！



2018年3月、緑道のポプラが、倒木の危険があることで、40年で役目を終えました。そのポプラの後にどんな木を植えたか、アンケートを実施。SNSや町行く人等約80名の回答を得、皆さんの希望を集約し、2019年11月9日「ギタコプシ」「イヌエンジュ」「ハシドイ」の3種類の木を植樹しました。多くの方とこれから街とともに成長していく木を選んで植樹する場をつくることができ、ワークススタッフはささやかな幸福感を味わいました。

同日、エゾオオカミ物語のモニュメントも雪の重みで壊れないよう、取り外して保管しました。旭川を拠点として活動するバレーボールチームのヴォレアス北海道の選手も駆けつけてくださり、強力な緑道ファンが増えました。

春になったらオオカミたちも緑道に戻ります。新たに植えた若木の新緑など、少しずつですが変化している緑道の風景に気づいていただけたら嬉しいです。



イヌエンジュ
柔らかな白っぽい緑色の新芽を出す木です。腐りにくく、北海道の開拓の際には鉄道の枕木に使われ、加工に適していて、旭川家具や工芸品に使われています。



ギタコプシ
春一番に白い花を咲かせます。アイヌの人たちは「香りがいい木」と呼んだそうで、花の咲き方で作物の出来を占ったそうです。



ハシドイ
アイヌの方々に親しまれ、「最も健康で強い木だ」と信じられ、家を守る神：セコルカマイのご神体として家内の東の隅に安置されていた」というエピソードのある木です。



ヴォレアス北海道
田城 貴之 選手(左)・田城 広光 選手(右)

私が所属するヴォレアス北海道のシンボルでもあるエゾオオカミ。今回そのエゾオオカミが緑となってモニュメントの回収と植樹作業を行わせていただきました。今まで知らなかったこの緑道のストーリーを知って、さらにそこに加わることで、この緑道は思い入れのある場所のひとつになりました。

先日はエゾオオカミのお引越し作業と植樹に参加させて頂きありがとうございました。今まで何気なく通っていた道が今回の活動に参加して沢山の人の想いが詰まった素敵な道なんだなと思いました。冬が終わり、またエゾオオカミが戻ってくる春を楽しみにしています。そして、今回植樹した樹々と一緒に僕も成長していきたいと思っています。

30年度手づくり郷土賞「受賞」

さらに海外の情報誌掲載へ

2018年12月、緑道ワークスは旭川市と共に国土交通大臣表彰である平成30年度手づくり郷土賞(一般部門)を受賞しました。この賞は、地域の個性や魅力を生かした活動に贈られます。

旭川市との協働のもと、「地域を育てる緑の道」未来を描く物語仕立ての社会資本の活用」をテーマに応募しました。短い夏にパラソルと椅子を並べ、木漏れ日の中で過ごせる居場所作りや、未来に向かって世代と世代を繋ぐ手づくりのお祭など、緑道ワークスが発足する前からの地域の取り組みも含めて表彰されています。

新聞などにも掲載され、市民にも活動を知ってもらえることができました。東京で行われた受賞記念発表会では、全国で手づくりのまちづくりをしている方々と交流ができ、これからの活動の励みになりました。

公共空間の活用について各国の地域事例を国際的に発信している(STPO)という団体が発行する情報誌『THE CITY AT EYE LEVEL ASIA』(2020年4月発行予定)に緑道の活動が掲載されます。

これまで(STPO)は、オランダやアメリカ、ブラジルなどの事例を発信してきましたが、2019年に初めてアジアを取り上げることになり、応募したところ審査を通り、掲載が決定しました。評価されたポイントは次の2つです。

- 地元住民や店主が中心となって道を大事にする努力と、その活動が行政にも刺激を与えていること。
- 自らのまちを大切にしようとする純粋な気持ちから、自然に生まれるまちづくりであり、必ずしも専門的な訓練を受けた人、専門的な知識を持った人が中心となる必要がないことを示していること。

小さな小さな「緑道ワークス」という活動ですが、緑道愛する気持ちから、地元の人々が集まって知恵を出し合い、空間づくりをしていることが、世界にも認められているなんて誇りがもてますね。

応募は、英語での投稿が条件でした。応募期間も短い上、英訳というハードルがあり、あきらめかけていた時、旭川市内の空き店舗を買取り、若い世代の新たな起業に尽力している野村パートナーズと孝氏に相談したところ、快く引き受けてくださいました。人と人が繋がれば、道は開けること、実感しました！



人と人が出会う場所

2019年7月

に行われた緑道文化まつりでは、ミツシオンをクリアするとおまつり



高校2年生
福元 空

で使えるコインがもらえるという企画があり、緑道のごみ拾いや鳥の糞を落とすお掃除もミツシオンのひとつでした。

お手伝いミツシオンで私が印象に残っているのは、子どもたちの真剣な表情と笑顔です。最初は上手に教えてあげられず、つまらないと言われてしまうのではないかと不安でしたが、みんな一生懸命ゴミを拾い、道の汚れを掃除して、「そろそろやめる?」と提案しても「まだやる!」と進んで掃除をする子がたくさんいました。頑張って汚れをブラシで擦っている真剣な表情や「大変?」と聞く「うん、楽しい!」と返してくれる笑顔はとても輝いていました。

たくさんのことも達とふれあえたことで、未来の緑道の姿を考えるようになり、またこの世代にこの緑道文化まつりを継承していくのでしょうか。文化まつりに限らず緑道の植物や歴史、人との関わりや思い出話。その中には私が教えてもらったこと、私が教えたこともあるかもしれません。おまつりの時だけではなく日常の中でも人のつながりが感じられるこの場所を好きになってくれる人がもっと増えて、ずっと先の世代まで各々の知識や思い出が受け継がれていったら嬉しいですね。

私は高校生活の3年間、緑道地域で沢山のイベントに関わってきました。最初はなんと



高校3年生
菊地 愛斗

なく進路に役立てたらいいなと思って来ていたのが、いざ体験すると人が笑顔になってくれるのが凄く楽しくて、自ら色々な事をやりたいと思うようになりました。クリスマスにサンタ役になって子どもと写真をとったり、餅つきでお餅をついたり食べたりして、みんなが笑顔になるのがいいなと思いました。

人間関係が豊かで緑がいっぱいあって、笑顔があふれる緑道で、役に立てることがうれしいです。

「思い出の寄稿」募集中



みなさんの緑道で過ごした思い出を募集しています。散歩しながら感じる季節の移ろい、コヒーを飲んでほっと一息する時間、緑道で出会った人とのエピソードなどをお聞かせください。「思い出の寄稿」は、「七条緑道エコミュージアム」のホームページで紹介いたします。学生がインタビュした旭川市土木課 熊谷部長の思い出の寄稿もホームページよりご覧いただけます。



植える

- オオウバユリ
- コスモス
- ヤブラン など

雑草抜き、水やり

腐葉土づくり

この道



ワークス活動会議

4月18日(土)

13:00~

まちなかぶんか小屋
旭川市7条通7丁目右10

緑道をきれいに

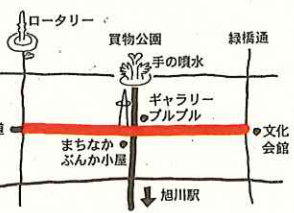
- 緑道のゴミ拾い
- 落ち葉掃きなど

誰でも参加
できますよ!

緑道カフェ

7月~9月(食べマルシェまで)
パラソルとカフェセットの
掃除/設置/開閉管理

こちらでも
ご確認ください



緑道ワークスでは、緑道での活動をお手伝いして下さるボランティアスタッフを募集しています。活動は上の通りです。ご興味のある方は緑道ワークス・齊藤までご連絡ください。

☎090-1307-0781

✉ryokudoworks@gmail.com

Facebook: facebook.com/ryokudoworks

緑道ワークス 検索

活動の主旨にご賛同いただける方の寄付を受け付けています。

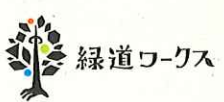
寄付によるサポート

- 基金箱 緑道周辺の店舗にて設置しています。
- 口座 ゆうちょ銀行/記号19770/番号15614401

募金箱をおいていただける場所を募集しております。ご協力を何卒よろしくお願い致します。

募金箱/設置場所一覧

ギャラリーブルブル/子ども富貴堂
/ Japachese Asahikawa / まちなかぶんか小屋 / ハルニレカフェ / プロダクト工房ミチヒト / HOMES / Osteria Bene



緑道から発信するまちづくりのご意見をぜひ事務局までお寄せください。活動会議のお問い合わせもお気軽にご連絡ください。
発行日/2020年3月1日 発行元/緑道ワークス
【緑道ワークス事務局】〒070-0037 北海道旭川市7条通8丁目39-16 (三和・緑道商店会内) E-mail/ryokudoworks@gmail.com
表紙「緑道」タイトル文字/堀川 真 デザイン/谷越のりあき

2019年度の活動の一部は、旭川市令和元年度市民の企画提案による街のまちづくり事業の助成を受けて実施しました。